

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	マレーシアプトラ大学 (マレーシア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of modern language and communication		
報告書提出日	2019年10月01日		
留学予定期間	2019年9月～2020年6月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 482.50 (RM) /合計

航空券代： 13万 (円) /合計

ビザ申請関連費： 534.00 (RM) /合計

その他 ( )： ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

3月下旬：UPM から受け入れ許可証が届きました。

5月初旬：EMGS へ海外送金 VAL (Visa approval Letter の申請)

(私の場合、EMGS の Web 上でカード支払いができなかったので送金することになりましたが、送金は手続きに苦労しました。)

7月中旬：EMGS から VAL が届きました。そして大使館へ SEV(Single Entry Visa)の申請をしました。これには予約や面接などは無く、申請当日パスポートと提出書類、VAL を持って行って5分もかからずに申請できました。3～4日ほどで発行されるので申請したその週に SEV を大使館に取りに行きました。

(注意)

・EMGS にお金を払うときに、PC の画面にカード番号を記入したのですが、なぜか使えずそのまま画面を消して海外送金しようと決めましたが、その時にカード番号が画面に入力されたままだったのか、その後そのカードの不正利用が発覚し、直ちにカードを STOP しました。去年の先輩も彼女の友達もほとんど EMGS にやられたようです。私はカードが結局支払い時に使えなかったにもかかわらずやられてしまいました。警察沙汰にはしなかったので確かな原因はわからないのですが、気を付けた方が良いでしょう。しかし送金は送金で手続きも大変だし、向こうに送金されるのに約2週間かかるのでやるのであれば、余裕をもって行うべきです。なので、VAL を EMGS からもらうまで私はとても時間がかかりました。同じ日本人の子はプリペイドカードを作ってそれで支払いをしたとっていました。その方が口座から抜かれることはないと思います。

・EMGS に VAL 用の写真を送らなければならないのですが、その写真の背景やサイズが合っておらず、何回も撮り直しました。初めから写真館へ VISA 用のサイズで背景は真っ白のものをとってもらうべきでした。マレーシアは写真に厳しいので、ちゃんと要求されているサイズや背景かどうかを確認すべき

です。

## 1.2. 渡航について

羽田空港（23:30 発）から直行でクアラルンプール国際空港へ約 6 時間で着きました。クアラルンプール国際空港から Grab というタクシーを使って 1 時間ほどで Guest House まで行きました。料金は RM60 くらいだったと思います。私の場合、9 月 4 日着なので迎えのバスはありませんでした。1 週間早ければありました。

### 注意

- ・SIM カードはクアラルンプール国際空港で買うべきですが、ここで注意なのが、到着後、飛行機を降りた後にモノレールに乗って immigration へ入国審査をするのですが、そのモノレールに乗る前に SIM カードのお店があったようなので（私の場合は HotLink です）ちゃんと確認すべきです。SIM カードを空港で買うのであれば。（月に top up していく形になります。）
- ・長期滞在者は入国審査時にほとんどの人が必ず通る immigration ではなく、student~というところを通して、専用のスタンプを押してもらわなくてはなりません。（大学での登録時に必要）

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

私はまず支払い方法に不安があり、Guest House へ行って、Office の人に会いました。そこで手続きを行い支払いの紙を渡されたので、それをもって Bursar というところに行って支払いをしました。ここでは 10 か月分を一括で現金で支払いました。なので、支払い分の RM を現金で Guest House に行く前に用意すべきです。そして支払いをすると、証明書をもらうのでそれを Guest House の Office の担当者に渡しました。料金は 10 か月だと RM3900 くらいで言われていた額より高かったのが驚きました。多めに現金を用意しておいた方が良いでしょう。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

入寮日（4 日）入寮後、提出書類である 1,UPM offer letter 2,Passport 3,e-VAL Letter をもって Mobility Student Registration のところへ行きました。そこで Student Pass をもらうための手順が書かれた check list をもらいました。

翌日（5 日）、次の Medical Check-up を受けるための予約をしに行きましたが、とても混んでいて私が受ける日が 12 日になってしまいました。List に書かれている順番通りに手続きを進めないといけないので、私は 12 日まで何もできませんでした。私と同じ健康診断日の子でも気になる授業に参加している子がいました。しかし check list の順序に従わないといけないので、健康診断が終わっていないのに授業登録はできませんでした。

### 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

人によって進度は異なります。

9/6 オリエンテーション

9/8 KL ツアー（オリエンテーション 2）

私はいけませんでした。私の到着の前の週から登録が始まっていて、自分の到着日にはもう定員を満たした状態でした。留学生は必ず行けると思っていたのでショックでした。

9/10 授業開始（初回は授業の説明、オリエンテーション）私は登録できていなかったためほとんど参加出来なかったです。二回目からの参加になりました。

9/12 Medical Check-up（目、体重身長、診察、X-ray、採尿、採血）  
iPutraにて passport 提出など手続き  
授業登録 完了

9/17 授業出席

### 3. 目標について

#### 3.1. 留学の目的、達成目標

留学の目的は英語力(four skills)を高めることはもちろん、異文化について色々なことを、実際に交流を通して学ぶことです。できるだけ多くの人とコミュニケーションをとって多くの違った価値観を知りながら視野を広げられるように努力していこうと思います。興味のあるマレーシア内の4民族の習慣や文化の違いなどを友達に聞いたり色々な場所に行ったりという経験をして学んでいきたいです。帰国後は TOEIC800 点と英検準1級取得を目指しています。listening と speaking をもっと向上させるためにたくさんの人とコミュニケーションをとりたいと思います。

#### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まってから語学力を少しでも上げるために、留学前準備講座を受けました。週三回でネイティブ講師により行われ、主にコミュニケーションを主体としたアクティブな授業でした。TOEFL IBT の対策を行う授業もあり、レベルが高く、難しかったですが、とてもためになりました。授業についていくのに必死で積極的に発言することが出来なかったことが反省点として残りましたが、講座終了後 TOEIC を受けたら 100 点以上上がったのでその点に関しては成長できたのかなと感じました。講座を受けたことでまわりの学生からたくさん刺激を受け、留学に向けて頑張ろうという気持ちになれました。

#### 3.3. 今月の学習・研修目標

まずはリスニング力を高めるために、ゲストハウスの留学生や現地の学生と仲良くなったり、授業をボイスレコーダーで録音してそれを復習したりしていきたいです。

ゆっくりでもいいから、焦らず自分の考えを英語で話せるようにしたいです。英語を話す時、どうしても弱腰になってしまうので、もっと自信をもって伝えるように心がけていきたいです。

### 4. 学修について

#### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	9-10 Language in Social Contexts/ 17-20 Public oration
火	12-14 Basic Communication Strategies / 14-16 General Linguistics
水	10-12 Language in Social Contexts / 14-15 General Linguistics
木	12-13 LAB of Basic Communication Strategies
金	

土	
日	

#### 4.2. 授業について

##### Basic Communication Strategies (火曜 120 分・木曜 60 分)

概要：コミュニケーションとは何かから始まり、コミュニケーションをする上で何が大切か、そもそもなぜコミュニケーションが大切かなど、色々な Situation でどんな効果的なコミュニケーションが必要かなどの Communication Strategy を考えていく。

特徴：グループに分かれてそれぞれでテーマについて考えて presentation を行う。先生の講義もある。抜き打ちテストがある。(選択問題) 日々の復習が大切になってくる。中間テストもある。人数は多め。留学生が多い。日本人は珍しいのか、名前を憶えられてよくあてられる。先生の英語が聞きやすい。わかりやすい。進度はそこまで早すぎない。

評価：Coursework 60%(Attendance, Group Assignment, Presentaion, Test, etc) Final Exam 40%

アドバイス：ちゃんと授業を受ける前に予定やシラバスを確認してある程度どんなことをやるのか把握しておいた方がいい。(どの授業にも共通して言える) Communication について自分の思うことやグループプレゼンのテーマについての考えなどをちゃんと用意しておくべき。

##### General Linguistics (火曜 120 分・水曜 60 分)

概要：言語学(神奈川大学英語英文学科の英語学概論と類似)の授業で言語の本質を学ぶため、英語の4技能を高めるための授業ではない。

特徴：先生の講義もあれば、グループでの活動やプレゼンもある。プレゼンの内容は先生が出した問に対しての考えをまとめて発表する形式。先生の英語がやたら早くて聞くのに必死。

評価：Test1 15% Oral Presentation 15% Mid-Semester Test 30% Final Examination 40%

アドバイス：教科書とスライドがあるので、授業はほぼ聞くことに重点を置いて逐一メモするようにした方が良かったと思った。録音もしている。

##### Language in Social Context (月曜 60 分・水曜 120 分)

概要：Language と Society がどういうつながりをもっているかを前提にして考える授業。言語の性質とその言語を使う背景やコンテキストなどを考える。

特徴：講義形式で先生の説明とグループワークがある。現地学生が多め。内容が難しくて予習と復習が必須。課題も多く出される。

評価：Test 1 15% Mid Semester Exam 20% Assignment/Presentation 25% Final Exam 40%

アドバイス：私にとってこの授業は触れたことのない内容なのであらかじめどういことをやるのかシラバスを見ながら調べておくと良い。教科書はあるが、先生が用意したスライドも有効活用できる。

##### Public Oration (月曜 180 分)

概要：人前での発表や演説を実際に行う、実践重視の授業。先生の講義もある。Public Oration を行うための重要なことについても学ぶ。

特徴：講義形式で、前半は先生の講義を聞く。内容はコミュニケーションに関してや、公の前での演説に関して行われる。そこでみにつけた知識をもとに、自分たちでトピックを決めてそれについて準備をし、学期末に演説を行う。

評価：Assignment 60% Final Exam 40% Assignment は授業内での個人、もしくはグループでのプレゼンを含む。

アドバイス：

#### 4.3 予習・復習・自習について

**Basic Communication Strategy** は抜き打ちテストがあるため、ちゃんと毎回復習して理解する必要がある。グループの課題やプレゼンもあるためグループで計画的に用意を進めるべきだと思う。グループでちゃんと意見を言えるように、発表でちゃんとできるように準備が大切だと思った。

**General Linguistics** は一回の授業で行う内容の質が高く、量も多いため復習が大切だと思った。教科書を読むのも大切だが、先生がスライドをアップしてくれるのでそれで理解していこうと思う。

**Language in Social Context** はグループでの課題が多め。わからないところはグループの子に聞いて課題などに取り組む必要がある。ただ、先生も優しいため質問はしやすい。

**Public Oration** は個人でも、グループでも発表、演説があるため、その準備をしっかりと行っていく必要がある。それを行うには、先生の講義から得た重要な内容をちゃんと活用できているかがカギになってくるので一回一回の授業の復習も大切になってくる。

### 5. 生活について

#### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
	<p>・部屋</p> <p>大きい一つの部屋に三つの部屋が分かれてある状態で、3人、2人、1人部屋でした。私は3人部屋でした。しかし結局一人来ないため、二人で生活しています。その大きい部屋で一つの台所を共有して冷蔵庫は私の部屋は運がよく、二つありました。部屋ごとにトイレとシャワーが備え付けてあって、でも2人と1人部屋の人是一个のシャワールームを共有する形になっていました。部屋はきれいで住みやすいです。しかし私の部屋のコンセントがどうも調子が悪く一つのコンセントを共用で使っていました。現地で一つでいくつも充電できるコンセントを買うと便利です。ケータイのモバイルバッテリーも現地で買うことができます。エアコンも扇風機もあります。WIFIは私より先に到着していたルームメイトから方法を聞いて、2日目には繋げられました。洗濯機が Guest House の下にある、住人みんなで共同でした。Office の人がいる平日の午前9時から午後4時頃の間で出来ます。使う際、小銭が必要です。乾燥機もあります。洗濯機が使えない場合は近くの sri serudang というところでコインランドリーを利用できます。洗濯機、乾燥機ともに RM400 かかります。シャワーとトイレは同じで、バスタブはもちろんありません。部屋にいても蚊に刺されることがあるため、虫よけは必須です。また、私の部屋は二階でありあまりありはのぼってこなかったですが、一階の子は台所によくありが来るため困っていました。Guest House は留学生の友達や日本の友達も多くできて困ったときにいつでも相談できるし、楽しく暮らすことができます。</p> <p>・日用品や食料</p> <p>日用品や食器、食料品などは自分で揃えます。もともと IH と鍋とお湯ポットはついてありましたが、それぞれの部屋によって異なるかもしれません。近くにショッピングセンターやお店が立ち並ぶ場所があり、Grab や Mycar を使って 10~15 分程度で行けます。とても規模が大きく、スーパーもあり、日用品や食料はそこで買うことができ、困ることはありませんでした。ショッピングモールにはレストランもたくさんあるため、外食も可です。もちろん学内の徒歩で行ける範囲にもレストラン的な場所があります。</p> <p>・私の経験</p> <p>タイの子と仲良くなり、よく夕食を一緒にすることがあったのですが、その後お腹を壊しました。タ</p>

イ料理が問題だったかといわれるとわかりませんが、結構お腹を刺激します。マレーシア料理もそうですが、辛かったり、スパイスが強かったりするので胃腸薬や胃の調子を整えるサプリメント的なものを日本から持っていくと良いかもしれません。私は特にお腹が弱いからかもしれませんが、必要になるときがあると思います。あと、水道水は飲めません。日本食も持っていくと良いです。留学生も喜ぶし、お腹にやさしいと思います。

### 5.2. 課外活動について

近くのショッピングセンターで日用品や食料の買い出しや、ついでに、三連休があったので、ゲストハウスの子たちでペナン島に行きました。みんなでマレーシア内を旅行しました。平日の全休の日は授業の予習や復習などをしました。サークルには入りませんでしたが、buddies というものに参加しました。

### 5.3. 現在までの感想

心配なこととして、私は到着が遅く、登録にとっても時間がかかり、授業を登録する際に私の受けたい授業がほとんど FULL で、受けられませんでした。教授に受けても良いか聞きましたが、却下され、神奈川大学でも受けたことのない授業をとることになってしまい、単位交換ができなくなる恐れが出てきました。つまり留年してしまわないかがとても心配です。とりあえず、UPM で登録した授業を頑張って取ることにします。今年は留学生が多いというのもあって、取りたい授業も取れなかったし、参加したいイベントにも行けなかったのが、無念でしかありませんでした。

また、私は英語力が乏しく、言語の壁にぶち当たっています。聞き取れないことがほとんどです。アジアの英語のなまりというか、癖も少しありますが、それを聞き取れるようにならないといけないなと強く感じています。さらに、自分の意見もしっかり伝えないと相手にされないことが多いので、きちんとあせらずに粘り強くあるべきだと思いました。さらに、国が違えば、文化や考え方も違います。日本で当たり前なことが海外では通用しないことはたくさんあります。自分から積極的に行動することが本当に重要だし、その違いを受け入れることも生きる上で大切です。

辛いことや恥をかくこと、うまくいかないことなどたくさんありますが、その一つ一つが、自分が成長するのに無駄ではないことを信じて頑張りたいと思います。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	マレーシアブトラ大学 (マレーシア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Modern Language and Communication		
報告書提出日	2019年11月 日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

近頃、私はまだまだ宗教のことやマレーシアについての歴史を知らないなと痛感しているため、先月の報告書にも書きましたが、現地の学生と関わり、歴史について聞いたり、あるいは自分で勉強して知識を身につけて自分自身の視野を広げていきたいと思えます。自分の目標としている、“自分の意見を英語でしっかり言えるようにする”ためには、もっと英語を使う機会を自分から増やしていき、間違えを恐れずコミュニケーションを積極的にとっていかなければならないと思えました。やはり日本人が多いと、甘えてしまう面があるためもっと自分から話題をふるなどして自分の話す英語の力をこれから高めていきたいです。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

授業では中間テストが2つと、プレゼンテーションが1つありました。テストは、まあまあ出来は良かったのですが、プレゼンテーションで準備を怠ってしまい、当日の発表で先生からの質問にうまく答えられなかったことが悔やまれます。その授業は自分の初めて触れる分野で専門用語が多く、難しいということもあるのですが、これから言語を学んでいく上でとても為になる授業なので、しっかり復習をしてこれからの授業やプレゼンに備えていきたいと思えます。

日常生活の面では、ゲストハウスの友達（他の国からの留学生）とコミュニケーションをとっているため英語を話す機会は多くあります。日本人の子といることも多いので色々な価値観を学べたり、人脈を増やしたりしています。より、人と関わることを増やしてその時に自分の考えをちゃんと伝えられるように頑張りたいです。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

先月と引き続き、授業の復習は怠らずにしていくことと、間違えを恐れず自分の意見を英語で伝えられるようにしていきたいです。授業の復習をすることで少しずつですが、先生の言っていることがわかるようになってきているので、頑張ります。

授業に限らず日常生活で、もっと自分から英語で話すことを心がけていきたいです。声をかけてくれるのを待っては、友達はできないし、英語を使う機会も少なくなってしまうので、自分が掲げる目標を少しでも達成するために自分から声をかけ、コミュニケーションをとることを頑張ります。

今月は Listening だけでなく、Speaking を高めることを重点に頑張りたいです。

## 2. 学修について

### 2.1. 授業について

#### Public Oration

→この科目は最後、みんなの前でプレゼンテーションをするのですが、今のところ、その準備段階として講義を聞いています。プレゼンするときに大切なことを先生の講義とスライドで毎週確認しています。この授業で習ったことはこの先社会に出て、プレゼンを行うときにとても役立つと思うので頑張ります。先月、一人で行うプレゼンのテーマや概要の提出がありました。来月から順番に発表を行っていくのでこれから具体的に準備、練習を進めていきたいと思います。

#### Basic Communication Strategies

→この科目では、コミュニケーションをとる上での戦略（大切なこと）を学んでいます。先月の中間テストまでは先生の講義やアクティビティを行い、学んでいくことが中心でしたが、これからは班ごとのプレゼンがあり、私は映画の中の一つの場面から読み取れる、コミュニケーションのあり方や効果的な使い方などを研究し、それを発表します。他の班のプレゼンではゲーム形式で学生が **Non-Verbal Communication** を実践的に学べるような発表をするところもあります。これからはこのように、先生から教わったことを自分たちがプレゼンを通して実践、確認していきます。

#### Language in Social Context

→この授業では、生徒が4人のグループになり、班ごとに指定された教科書を読んで、それをプレゼン形式でみんなに伝え、その後先生が講義で付け足していくという、学生主体で進んでいます。そのため学生一人一人の責任が大きく、それぞれの理解力が大切になってきます。言語の使われ方や国ごと、あるいは地域ごとの言語、方言の違いやその背景、歴史などをこの授業で勉強しています。

#### General Linguistics

→この科目は英語の単語や音声、文、形の構造について学びます。單元ごとにテストがあり、その一つ目が先月に終わりました。内容は **Morphology** でした。次回からは **Phonetic, Phonology, Syntax** を学んで、今月末に中間テストを行います。この授業では先生が講義をして、そのまとめとしてグループごとに講義内容のプレゼンをして、学生みんなで共通理解をします。講義だけの授業でないため、深い理解ができて面白いです。今月末に單元毎のテストと私の班はプレゼンを控えているため、準備をしていきます。

### 2.2. 予習・復習・自習について

#### Public Orarion

→先生の講義に使われたスライドを確認するとともにプレゼンの準備をしていきます。一人でのプレゼンだけでなく、グループで行うプレゼンもあるのでしっかりスライドを読んでポイントを押さえ、プレゼンを良いものにしたいです。

#### Basic Communication and Strategies

→先生の講義を録音したものを聞いてノートにまとめてテストや今後のグループ活動に活かすようにしています。この授業の先生は、はっきり例を挙げて説明してくれるのでわかりやすいため復習すると、より深い理解につながります。



### Language in Social Context

→テキストを読む予習（課題）が毎回課されるため、読んで、授業内で復習した範囲の確認をするようにしています。それでも難しくわからないときは先生に聞いて解決するようにしています。難しい専門用語があるのでその語句の意味をちゃんと理解するよう努めています。

### General Linguistics

→毎回スライドを用意してくれるのでそれを見て授業を受けています。この授業はどちらかというと、復習に力をいれています。なぜなら、講義のあとにテストやプレゼンがあるからです。スライドから大切なポイントを押さえ、+αで教科書を読んで知識を増やす形で復習しています。これも授業中録音してそれを復習時に聞くようにしています。

## 2.3. 語学力について

授業の復習をしているため、Listeningの面では、授業中に先生が言っていることが聞き取れることが増えてきているなど実感しています。しかしSpeaking力が まだまだだと感じます。文法や語彙の力もSpeakingには必要なのでそこは日本から持参した本を勉強して身につけることと、もっと留学生や現地の学生とコミュニケーションをとる機会を増やし、その中でも自分から話しかけたり話題を振ったり、質問をしたりするなど、その会話の質を高められるように積極的に自分から発信していったらSpeaking力を上げたいです。最近では、時間があるときに洋書を読むようにしています。授業で使う教科書は勿論のことですが、他にも英語を読む機会を増やして語彙力やReading力を身につけたいです。Writingの面では、私は日記を毎日つけているので、英語で自分の意見や気持ちを書く習慣はこれからも続けていきたいです。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他：       ）
----	------------------

寮の近くにあるママック（Mamak：マレーシア語でレストラン、外食できるお店のようなもの）というレストランのような、気軽に食べられるお店があり、そこで頻繁にご飯を食べます。マレーシア料理を中心としていて、安くていつでも楽しく食事できるのでよく友達と行っています。お店の人とも仲良くなっていると思うくらいです。私のマレーシア生活はこのママックに助けられているといっても過言ではありません。友達と一緒に行って息抜きとして楽しんでます。学部内にもご飯を気軽に食べられるところがあり、授業があるときは利用しています。自炊はほぼしていません。寮でも快適に過ごすことができます。先月はアリに悩まされました。今は雨季なので毎日折り畳み傘をもつようにしています。雷を伴う激しい雨が降るので驚いています。早く乾季になってほしいです。マレーシアは発展途上国ということもあり、自然が多く残っている部分もありつつ、高層ビルや道路が作られ、発展してきている部分もあります。日本にいるときより、自然と共生している感覚を味わっています。

### 3.2. 課外活動について

10月末から1週間ほど、Mid-term Breakがあり、そこで私は一緒に過ごしている日本人の友達とマレーシア国内を旅行しました。自然に触れられる体験（リパークルーズ）をしたりおいしい食べ物を食べたりして楽しく過ごすことが出来ました。普段の休日もKLに行ったり近くのショッピングモールに行

ったりして過ごしています。さらに Buddies の活動にも参加して海外の留学生と交流しています。先月はマレーシアの料理を食べて、マレーシアで有名な映画「OLA BOLA」を鑑賞して交流を深めることができました。

### 3.3. 現在までの感想

マレーシアに来て二か月、毎日があっという間に過ぎていくと感じています。一日一日を大切に過ごそうと強く思います。最近によく価値観の違いに驚いたり、時に不快に思ってしまうこともあります。それは国が違えば考えが違って当たり前なのですが、どうしても受け入れられないときもあり、特に環境面や衛生面で苦しいと感じます。日本にいて当たり前としていたことが他の国では当たり前ではありません。思わず、自分の経験や考え（主観）で物事を捉えてしまうことがあるので、そこはしっかり“違い”を受け入れる必要があると痛感しています。

英語力だけでなく、人間力の面でまだまだ成長できていないところがあるので、自分がどういう風に成長して、将来どんな人間になりたいのか、留学を通して身につけたい力は何なのかを再確認し、それら目標や課題に対して向き合って頑張りたいです。

以上